

病害虫発生予察情報

10月月報

令和4年11月14日
東京都病害虫防除所

1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2022年 10月	気温						降水量 (mm)		日照時間 (h)	
	最高		最低		平均		平年比		平年比	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	(%)	本年	(%)
上旬	23.0	-0.9	14.4	-1.4	18.5	-1.0	91.0	92	34.4	86
中旬	21.1	-1.0	13.8	0.1	17.4	-0.2	19.0	28	26.1	60
下旬	19.3	-1.0	8.0	-3.2	13.5	-2.1	1.5	2	69.7	128
平均	21.1	-1.0	11.9	-1.6	16.4	-1.1				
合計							111.5	49	130.2	94

※ 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

※ 平年差（比）：平年値（1991～2020年の平均値）からの差（比）

上旬：期間のはじめは高気圧に覆われて概ね晴れたが、期間の中頃以降は前線や低気圧の影響で雨や曇りの日が多く、大雨の日もあった。期間の前半は晴れて気温が高くなった一方、後半は寒気の影響を受けてかなり低くなり、寒暖差が大きくなった。

中旬：気圧の谷や前線の影響で雨や曇りの日が多くなったが、期間の終わりは高気圧に覆われて晴れの日があった。

下旬：期間の前半は数日の周期で変わり雨の降る日もあったが、期間の後半は高気圧に覆われて晴れの日が多くなった。期間の中頃は寒気が流れ込んだため気温がかなり低くなる日もあった。

2 作物生育概況

(1) イネ

収穫時期は平年並となり、10月中旬には収穫が概ね終了した。

(2) 野菜

果菜類：施設トマト、キュウリの生育はおおむね順調であった。露地ナスは日照不足や低温の影響で10月までに栽培は概ね終了した。

葉根菜類：施設のコまつな、ハウレンソウの生育は概ね順調であった。露地のキャベツやブロッコリー、ダイコンはやや生育が遅れ気味であった。

いも類：サトイモとサツマイモの収穫時期は例年並みであった。

(3) 果樹

農総研果樹圃場（灰色低地土）における主要品種の収穫期と平年差（カッコ内）は以下のとおりであった。

カキ：収穫始めは、平年と比べ‘早秋’で2日、‘太秋’で13日早く、‘伊豆’で3日、‘甘秋’で1日遅かった。収穫終わりは、平年と比べ‘早秋’で4日、‘伊豆’で8日、‘甘秋’で7日遅く、‘太秋’では平年並みであった。

‘早秋’	収穫始	9月29日（－2日）	収穫終	10月17日（＋4日）
‘太秋’	収穫始	9月29日（－13日）	収穫終	10月31日（±0日）
‘伊豆’	収穫始	10月11日（＋3日）	収穫終	10月31日（＋8日）
‘甘秋’	収穫始	10月14日（＋1日）	収穫終	11月4日（＋7日）

3 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト（施設・促成長期どり）

葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
すすかび病	< 並 >	発生は平年並であった。
コナジラミ類	< 並 >	発生は平年並であった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
タバコガ類	< やや多 >	発生はやや多かった。

キュウリ（施設）

うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
べと病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハモグリバエ類	< やや多 >	発生はやや多かった。

キャベツ・カリフラワー・ブロッコリー

黒腐病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
オオタバコガ	< 多 >	発生は多かった。
ヨトウガ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
アオムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ

白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

ダイコン・ハクサイ

軟腐病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
モザイク病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ヤサイゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ハイマダラノメイガ	< やや多 >	発生はやや多かった。

アブラナ科野菜共通

キスジノミハムシ	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< やや多 >	発生はやや多かった。

ハウレンソウ

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
シロオビノメイガ	< 並 >	発生は平年並であった。
ハコベハナバエ	< 並 >	発生は平年並であった。

ネギ

黒斑病	< 並 >	発生は平年並であった。
さび病	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	< 並 >	発生は平年並であった。

イチゴ

うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ	< 並 >	発生は平年並であった。

野菜共通の病害虫

ハスモンヨトウ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
オオタバコガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヤサイゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 花きの病害虫

シクラメン

ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
--------	-------	-----------

花き共通

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
タバコガ類	< 少 >	発生は少なかった。

(3) 島しょの病害虫

大島：ブバルディアでコナジラミ類の発生が多かった。
その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

4 ミバエ類等侵入警戒調査

チチュウカイミバエ	< 誘殺なし >
ウリミバエ	< 誘殺なし >
ミカンコミバエ種群	< 誘殺なし >
コドリソウ	< 誘殺なし >

病害虫防除所ホームページ

[https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/
shoku/enzen/boujyo/](https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/shoku/enzen/boujyo/)

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、
防除のポイントなどをお知らせしています。